

# 広くビジネス的成功目指す

## コーディネーターのコメント

これまでの産学官シンポジウムは「こうあるべきだ」という方法論が多かったのですが、今回は「オール千葉による循環型社会の構築」という大きなタイトルのもと、産学連携で事業を進め、商品化、実用化の直前ま

日本大学  
生産工学部教授

邊 吾一氏

で達している藤井製作所（千葉県柏市）、ガラスリソーシング（同銚子市）に事例を発表してもらったことにしました。

産学官連携は技術や工学だけではなく、広くビジネス的な成功を目指すものでもあります。千葉ロッテマリーンズも、産学官に活動を広げて観客動員数の増加を図っています。応援の輪を広げてビジネス的に良いサイクルを作っていくことも、広い意味で「循環型」と言えるでしょう。

